

# 花ちゃん、オー君、モンタ博士、フタ博士のくわくわく対話してきてく

国立市立国立第七小学校

平成30年1月30日 NO.93 (493)



オー君 「<sup>おおゆき</sup>大雪がふってうれしかったね。<sup>ゆき</sup>雪だるま<sup>つく</sup>作りや<sup>ゆきがっせん</sup>雪合戦<sup>たの</sup>が楽しかったね。」

花ちゃん 「<sup>こうてい</sup>校庭が<sup>めん</sup>一面の<sup>ゆき</sup>雪で<sup>かんとく</sup>感動しました。<sup>ゆき</sup>雪が<sup>ひさま</sup>お日様に<sup>ひか</sup>キラキラ<sup>ひか</sup>光って<sup>さいこう</sup>最高でした。」

モンタ博士 「それはよかったね。ところで、<sup>ゆき</sup>雪と<sup>あめ</sup>雨のちが<sup>なん</sup>いって何だろうね。」

オー君 「<sup>かんたん</sup>そんなの簡単です。<sup>ゆき</sup>雪は<sup>ゆき</sup>雪だるま<sup>つく</sup>が作れるけれど、<sup>あめ</sup>雨が<sup>あめ</sup>ふっても<sup>あめ</sup>雨だるま<sup>つく</sup>は作れないです。」

モンタ博士 「ほほー。なるほど。そのとおりだね。では、<sup>ゆき</sup>どうして雪ができるんだろうね。」

花ちゃん 「それは、たしか・・・<sup>そら</sup>空の上は<sup>うへ</sup>気温が<sup>きおん</sup>低くて<sup>ひく</sup>始めに<sup>はじ</sup>細かい<sup>こま</sup>氷の<sup>こおり</sup>つぶができて、  
それに<sup>くうきちゆう</sup>空気中の<sup>すい</sup>水じょう<sup>き</sup>気が<sup>ほん</sup>こおりついてできるって、本にあったわ。」

モンタ博士 「<sup>そら</sup>そうだね。お空から<sup>じめん</sup>地面に<sup>とき</sup>ふってくる時に、<sup>きおん</sup>気温が<sup>ど</sup>3～5度より<sup>たか</sup>高いと、<sup>ゆき</sup>雪も<sup>あめ</sup>とけて<sup>あめ</sup>雨になってしまうんだ。」

オー君 「<sup>ふゆ</sup>冬は<sup>きおん</sup>気温も<sup>ひく</sup>低くなるので、<sup>ゆき</sup>そのまま雪が<sup>ゆき</sup>ふるのですね。」

モンタ博士 「<sup>ふたり</sup>そうだよ。ところで、<sup>ゆき</sup>二人とも雪の<sup>けっしょう</sup>結晶<sup>み</sup>というのは見たことがあるかな。」

花ちゃん 「<sup>としよしつ</sup>図書室で<sup>み</sup>見たことはありますが、<sup>ほんもの</sup>本物は<sup>み</sup>見たことがありません。」

モンタ博士 「それは<sup>ざんねん</sup>残念だね。<sup>ゆき</sup>雪の<sup>けっしょう</sup>結晶<sup>み</sup>を見れば、<sup>ゆき</sup>雪が<sup>お</sup>ふり<sup>お</sup>落ちてくる<sup>とき</sup>時に見れば<sup>み</sup>いい

いんだよ。」

オー君 「でも、どうやって見ればいいのですか。」

モンタ博士「肉眼でも見る事ができるけど、虫メガネがあるといいね。紙とか布とか黒っぽいものを用意するんだ。フリースなんかとてもいいよ。あたたかいと雪はすぐとけてしまうから、少し外に置いとくといいね。そして、冷えた紙や布に、ふってくる雪を落とすだけさ。キャッチすればいいのさ。」

花ちゃん 「とてもかんたんなんですね。今度チャレンジしてみます。」

モンタ博士「雪の結晶は、いろいろな形があって、それはそれはきれいで感動的だよ。」

オー君 「はい。わかりました。花ちゃん！今度、いっしょに見よう。」

モンタ博士「それからね、雪の結晶というのは、とてもたくさんの種類があるんだよ。」

オー君 「どのくらいあるのですか。100個くらい、1000個くらいですか。」

モンタ博士「おどろくことに、なんと6000種類もあるそうなんだ。どうして、そんなにたくさんあるんだと思う。」

オー君 「うーん。むずかしいな。わかんない。」

モンタ博士「それはね、空気のしめりぐあいとか、気温によって形がいろいろと変わるからなんだ。」

花ちゃん 「いろいろな結晶を早く見てみたいです。」

モンタ博士「それから、おまけの話だけど、雪の色って何色かな。」

オー君 「そんなの決まっています。白です。まっ白な雪っていいですよ。」

モンタ博士「ところがどっこい、そうでもないんだよ。雪には黄色や赤色の雪もあるそうなんだから、おどろきだね。」

花ちゃん 「本当ですか。信じられません。」

モンタ博士「そこが自然界のおもしろいところだね。黄色い雪とは、雪ができる時、中国から飛んできた黄砂というものが混じるからなんだよ。それから、赤い雪とは、アフリカのサハラ砂漠のから飛んでくる赤い砂がもとになってるんだ。」

### 粉雪とぼたん雪について

粉雪はさらさらした感じで、ぼたん雪は、べたべたした感じである。粉雪は気温が低い時にできるもので、結晶は固くて細かいものであるのに対し、ぼたん雪は、気温が高い時にできるもので、結晶は大きいと言われている。落ちてくる途中で、雪がくっつき合い、直径が10cmもあるぼたん雪が降ったという報告もあるそうだ。